

< 7月第一例会議事録 >

書記 野呂 隆

・日時：2017年7月20日（木）

19:00～21:00

・場所：西神戸YMCA

・出席者：合田、佐伯、杉本、館、達、田辺、長坂、中村、野呂、檜木、藤井(信)、藤井(久)

メネット：合田、杉本、宗利

ゲスト：水野宏明氏（太山寺児童館ディレクター）

ビジター：中道京子氏（メネット事業主任）



1. プログラム

開会点鐘：田辺会長、ワイズソング斉唱：全員、
今月の聖句朗読：ドライバー

7月お誕生日お祝い：達 直樹メン(7/1)、
中村 剛メン(7/27)、水野宏明氏（ゲスト）

2. ゲストスピーチ

(1) 「生きる！希望を分かち合いながら」

講師：メネット事業主任 中道京子氏

今年度の事業主題を「生きる！希望を分かち合いながら」“Live sharing hope!”とし、これを心にとめながら活動していきます。

近年、子どもの貧困の問題がマスコミなどでよく取りあげられます。現在、子どもたちの多くが安全安心な社会環境の中で生活していくことが難しい状況になっております。私たちは未来ある子どもたちが希望の持てる社会を作っていきたいと思っております。

具体的な計画として、

- ① まず、子どもの置かれている貧困の状況を私たちが学び、啓発活動を推進していきます。
- ② 子どもの貧困をサポートしている団体を支援していきます。(例、WACCAなど)
- ③ 西日本区メネット報を年3回発行して啓発活動を積極的に展開し、各所で具体的な活動を実行していきます。

クラブの中にはメネットの少ないクラブもあるので、メン・メネットが一体となって協力していただきたいとの要請があり、恵まれない子どもに寄り添って活動していくという気持ちがひしひしと感じられて、我がクラブとして何ができるのかを具体的に考える必要があると実感した。

(2) 「太山寺児童館の取り組み」

講師：同児童館ディレクター 水野 宏明氏

社会福祉法人神戸YMCAが子どもの居場所づくり事業として、「太山寺児童館」の運営委託を受けて事業を行っております。現在は毎週火曜日夕方5時から6時の学童保育が中心ですが、今後は食事を提供ができる「子ども食堂」も運営したいと思っております。子ども

の貧困が増えてきていて孤食で栄養のバランスにも影響が出ているようです。

学童保育では勉強を教える人を求めています。大学生は時間的に無理の様子で、現在は学園都市のクラブのメネットさんお一人で面倒を見ていただいております。

お二人のスピーチの後は、机を少し並び替えて料理をおき、ささやかなパーティーを行いました。メインのにぎり寿司や西洋風総菜、サラダなどデリカテッセンはすべて自分たちで買ってきて、飲物は缶ビールやジュースを紙コップで飲むというシンプルな催しでしたが、久しぶりのことでもあり みなさんで和やかなひとときを過ごしました。

< 8月第二例会議事録 >

書記 野呂隆

・日時：2017年8月3日（木）19:00～21:00

・場所：西神戸YMCA

・出席者：佐伯、杉本、達、田辺、丹家、長坂、中村、野呂、檜木、藤井(信)、藤井(久)

1. 報告事項

(1) チャリティラン2017 第1回協賛委員会

日時：7月10日（月）19:00～20:30

場所：神戸YMCA

出席者：田辺会長

昨年のような協賛企業探しをせず、今年度はワイズが紹介した企業に協賛をお願いし、YMCAがその窓口となる。また、各クラブの協賛金に加えてワイズに寄付の協力をお願いすること、などが話し合われた。

(2) ワイワイまつり 第1回実行委員会

日時：7月18日（火）19:00～20:30

場所：西神戸YMCA

出席者：田辺会長と藤井(信)主事、日程は10月21日(土)で、クラブとしては例年どおり餅つきを行い、衛生面には特に配慮することとした。

(3) 地域奉仕担当者会

日時：7月31日（月）17:00～

場所：神戸YMCA

出席者：杉本六甲部長、檜木地域奉仕担当

大野智恵事業主査より今年度はベルマークの活動で使用済みカートリッジを回収して、熊本地震被災地の学校を支援したいとの説明があった。「きらりと輝くアート展」は今後検討するとのことであった。

- (4) 西日本区・六甲部報告
 西日本区会費請求 ¥154,500
 六甲部会費請求 ¥22,500
 クラブとして寄付については積極的に取り組みたいとの提案があり、了承された。
- (5) クラブの前年度収支実績と今年度予算
 中村前年度会計担当より前年度の収支実績について説明があり了承された。なお、今年度の収支予算書も配布された。

2. 協議事項

- (1) 7月第1例会を振り返って
 ゲストスピーチの後で、食べもの、飲みものは全部持ち込みの簡素な立食パーティーを行った。久しぶりのパーティーでくつろいだ雰囲気、反応はおおむね良好であった。
- (2) 8月第1例会 学園夏まつり
 日時：8月6日(日) 17:00~21:00
 場所：ユニバードーム(学園都市駅前)
 当日は、学園都市YMCAが会場で来場者向けに、全身反応測定と握力測定を行う予定。
 参加者は15時に現地に集合して、テントや会場の設営、測定の補助、後片付けを手伝う。
- (3) 9月例会・事務例会
 9月7日(木) 第2例会
 9月21日(木) 第一例会では檜木メンのヨット航海の楽しさについてお話を聞く予定。
- (4) その他
 ・10月事務例会 10月5日(木)
 第1例会 ワイワイまつり 10月21日(土)
 ・11月事務例会 11月2日(木)
 第1例会 チャリティラン 11月3日(金)
 ・岡山クラブDBC締結、ジャガイモファンドについては従来の方針で進めていく。細部はその都度協議して決めていく。

3. 西日本区・六甲部行事予定

- 六甲部Yサ事業委員会議 8月7日(月)19時~神戸YMCA、長坂参加予定
- 六甲部EMC推進チーム会議 8月9日(水)18:00~20:30 神戸市青少年会館
 参加予定：杉本、田辺、達、野呂

< 第一回六甲部評議会報告 >

会長 田辺征一

7月8日(土)13:30、新装なった神戸YMCA会館のチャペル、杉本隆人・新六甲部長の点鐘で評



議会は始まった。

開会挨拶で部長は主題「共感しあい、支えあおう」を語り、ワイズメンとして3感(感心・感動・感謝)を覚えることの大切さを強調された。井上真二・神戸YMCA総主事は新会館建設までの経緯説明の中で深い感謝を表し、今後のYMCA活動の中でユースの養成と連絡主事協力の強化を強調された。

定数確認(会員数126中48出席)の後、中村剛・六甲部書記により開会が宣言された。六甲部役員・事業主査の紹介に続いて、前期活動報告と承認、今季活動計画の発表と承認、今期事業主査の活動方針・計画の発表の後、8クラブの会長により活動方針・事業計画があつく語られた。

16:30からは会場を移して第2部「懇親会と感謝会」がもたれ、その中でYMCAブランディング計画の現状と今後の計画が説明され、注目の新しいロゴマークも披露された。

第3部は、再びチャペルにもどり、ディンドンリングによるハンドベル演奏を聴く。さわやかな音色はいやしのひと時となった。YMCAの歌を斉唱し、藤井久子・六甲部会計の閉会のあいさつによりお開きとなった。

18:30散会、何か満たされた気持ちで家路についた。新六甲部役員の皆さまお疲れ様でした。今回、学園都市クラブからは運悪く都合の悪い会員が多く、残念ながら出席は7名であった。今後とも六甲部役員を輩出したクラブとして執行部を支えていきたい。

< ANA チャーター直行便で行くスイスゆったりアルプス3大名峰と氷河特急デラックスシート9 >

丹家元陽 メン



ヨーロッパの虜になって10数年。この国の東のオーストリア、北のドイツ、西のフランス、南のイタリアには行っている。しかしヨーロッパの臍となる所が抜けていた。今回、妻が選んだのがこの旅行。

2016年7月9日(土)

PM1:00 大雨警報の出ている関空を離陸。B777-300は約12時間のフライト、時差7時間でPM6:15 Zurich 空港に着陸。標高408m、29℃。最近ではスイスも暑くなってきたとの事。空港の周りを見渡しても、なんかイメージと違う。スイスといえば万年雪の積もった山が近くに迫っているはず。でも周りは、なだらかな丘と緑の畑が地平線まで広がっている。

ここでスイスのおさらい。国旗はいわずと知れた赤地

に白十字。面積は4万km²強で九州よりやや小さい。国土を平らにすると標高約1000mになるらしい。人口800万人弱。ドイツ系65%、フランス系22%、イタリア系8%、ロマンシュ系1%で、各々の言葉が入り混じっている。通貨はスイスフランでユーロとほぼ同じ。

まずバスに乗り、今夜のホテルのあるLuzernへ。バスは高速道路へ。時速100km(これ以上は出ない設計)。通行料は年間40スイスフランを払えばいいとの事。そして日中もヘッドライトを点けるのがマナー。約1時間でグランドホテル・ナショナル・ルツェルン着、PM8:00。フィアヴァルトシュテッター湖の辺に建つルーブル宮殿をモチーフにしたといわれる5つ星ホテルで美しい。

7月10日(日)

ルツェルンの日の出AM5:30、標高436m、22℃、涼しい。おいしい朝食後、徒歩で市内観光スタート。まずはライオン記念碑へ。その昔、産業のなかったスイスでは口減らしの為に多くの若者達が海外で傭兵として活躍していた。1792年フランス革命の際、ルイ16世とマリーアントワネットを守ろうとして命を落とした786名の兵士を悼んで造られた。大きな岩に身を横たえるライオンの脇腹には槍が刺さり、息も絶え絶え。今もヴァチカン宮殿の護衛をスイス兵がしているのは当時の名残。

次に向かったのはルツェルンのシンボルカペル橋。湖から来る敵から守る城壁の一部として、湖から流れ出る川に1333年に造られた木造の橋でヨーロッパ最古と言われ、屋根付きで欄間に当たる所に110枚ある三角形の絵画が美事。しかし1993年の火災で焼けたが、今は見事に修復され、橋の両側に咲き乱れる花と湖に浮かぶ白鳥とのコントラストが美しい。

そしてバスは西へ110km、スイスの首都Bern着。標高

540m。ベルンとはドイツ語で熊。この領主が最初に射止めた動物の名前を付けたとの事。色とりどりのバラの咲くバラ公園から見下ろす旧市街は世界遺産で、ベージュ色の屋根の連なりが美しい。旧市街の中心に仕掛け時計の時計塔があり、市内にはアルプスからの湧水を利用した100ヶ所以上の泉があり、特にメインストリートにある泉には「パイプ吹き」の泉、「アンナライザー」の泉、「正義の女神」の泉、「子喰い」の泉とかの名の付けられた立派な彫刻が美事。

昼食は近くのレストランで。卓上のピッチャーに入っている水は水道水。ヨーロッパの他の国では有りえない。余程水に自信がある証拠。地元のビールが喉に浸み入り、前菜はモッツォレラチーズとトマトのサラダ。メインはポテト、乾燥インゲン、ザッハークラフト添えのシュクルート。デザートはアップルパイで大満足。

そして熊公園を見学後、バスは南東へ約80km。ベルナーオーバーランドと言われる地方に入りトゥーン湖とブリエンツ湖の間にあるインターラーケンを通り一路Grinderwaldへ。途中から前方に雪山が見え始め、あれはJungfrauか? Eigerか? とバスの中は大興奮!

PM6:00 グリンデルワルト着。標高1034m。28℃ 48%と意外に暑い。スイス最初の夕食はやはりフォンデュ。まず最初はエメンタールチーズ、グリュイエールチーズ、白ワインのチーズフォンデュをパンで。次は牛肉、豚肉、ターキーをコンソメフォンデュで頂く。デザートはイチゴ、ラズベリー、ブルーベリー添えのアイスクリームで納得。勿論白ワインは欠かせない。

(次号につづく)

< 今月の聖句 >

空の鳥を見なさい、種をまくことも、刈り入れることもない。

「自分の命のことで、何を食べ、何を飲もうかと、また自分の体のことで何を着ようかと、思いわずらってはならない。命は食べ物より大切なもの、体は着物より大切なものではないか。空の鳥を見なさい。種を播くことも、刈り入れることもせず、また倉に収めることもしない。それなのに、あなたがたの天の父(神)はこれを養ってくださる。あなたがたは、鳥よりも、もっとすぐれた者ではないか。」(マタイによる福音書6章25～26)

太宰治は『鷗 --- ひそひそ聞こえる。なんだか聞こえる。』という短編で、上のキリストの言葉が、私に「ポーズではなく、生きる力を与えてくれたことがあったのだ」と書いている。

人間ならば「播く」「刈る」「収める」は生きるために必要な仕事。しかし、鳥はそれをしなくても生かされている。仕事をしなくてもいいということではない。欲望を満たすためにあくせく暮らすのではなく、人生で、本当に大切なものは何か、何によって生かされているかを考えなさい、ということだ。

～ 齋藤孝著 「声に出して読みたい新約聖書」草思社より～